

## 鳥の卵塞（卵詰まり）

ほとんどの鳥は左側の卵巣と卵管だけが発達しています

鳥により多少の違いはありますが 生後 6-12 ヶ月ほどで産卵が始まり

一定の間隔で数個の産卵をします

雄の存在に関係なく無精卵で産卵が始まります



いろいろな刺激 たとえば日照時間 雄の鳥やほかの鳥の存在 鳴き声 降雨 気温

湿度 周囲の適切な環境 豊かな食餌などが卵の成熟をもたらします

産卵過多の問題を解決するのは難しいのですがこれらの刺激を改善することが

少しは産卵を抑えることができるヒントになるのかもしれませんが

### （卵塞の症状）

腹部の腫れ 食欲・元気の消失 異常ないきみ 排便異常

不安な行動 体のふくらみ 総排泄腔・卵管の脱出などの症状があります

### （卵塞の原因）

環境の温度 粗食と栄養不良 高齢 産卵過多 慢性卵管炎 肥満

生活環境の問題などが考えられます

### （卵塞の対処法）

発見したらすぐ保温（約 28-33℃程）します 病院で治療を受けても

しばらくはつらい状態が続きますからしっかりと看護しましょう